

◆天覧山から多峯主山へ◆ ~春のハイキング~



6月17日の土曜日、前日までの梅雨空から一気に晴れて絶好のハイキング日和 … と言いたい所ですが、ちょっと「暑すぎた」感あり。本日の御一行様は、伊藤、栗田、久保田、濱田の4名。西武池袋線の所沢から車窓を楽しんでいると、飯能まで程なくして到着します。飯能駅から静かな街並みを歩いて行くと、先ず武蔵野七福神がお出迎え。そして天覧山の麓にある能仁寺へ。あじさいも歓迎して下さいました。

いよいよ天覧山への登りになります。標高195mの山で、登山口の能仁寺からは30分程度で頂上に達する気軽に登れる山…ガイドの久保田さんの「お言葉」ですが、山は山…そうは簡単に登らせてくれません。小学生の頃、遠足で登った山だなあ… そんな気持ちで登って行くと階段の段差が高く、鎖場ありで、中々手ごわい！

元々は、徳川第五代将軍綱吉公の生母桂昌院が羅漢像を寄進したことから羅漢山と呼ばれていました。確かに途中で、岩に彫られた羅漢さんがいらっしゃいました。その後、明治天皇が軍の演習をこの山から視察したことから天覧山と呼ばれるようになりました。低山と言っても、頂上からの眺望は「素晴らしい」の一言！ 雲の合間に富士山を、そして西武ドームも、都心のビル群も眺めることができました。

近くにいたおじさんにシャッターを押して頂いたのですが、「天覧山頂上」の標識は写っておらず・・・ザンネン！

ここから一旦下って、隣の多峯主山(とうのすやま 標高271m)まで足を延ばしました。ご覧の通り、下りも簡単ではありません！ そして、やっと頂上に到着！

頂上では皆さん記念写真のラッシュ！ 我らもここでお昼にして乾杯しました！ カメラマンは、いつものように写っていません！

鳥のさえずりが聴こえる静寂な林を歩いて下山しま

した。都心から遠くありませんが、自然がとても豊かでした。駅の近くで恒例の反省会をして、飯能始発の電車に揺られて「春のハイキング」はお開きとなりました。

(濱田 豊)





『私の学生時代』

安倍 正人 (昭和56年 法学部卒)

■なぜ明治に ■「二十歳の原点」…故郷仙台での一浪時代にこの本に出合った。自死した高野悦子の日記だ。一行一行に心を打たれた私は、彼女が在学した立命館大学に進むと決めた。当時は1月に関西で入試があり2月末に東京で一段落する。半月以上の“入試旅”を終えて帰仙、両親に京都進学を告げた。止せばいいのにこの時、明大ほかの合格も告げてしまった。そこからが大変。東北から縁も所縁もない京都になぞ送り出せぬと、従兄弟まで駆り出されて説得が始まった。

■明大入学 ■何日かの攻防の末、上洛を断念。4月初旬武道館での入学式に母と臨んだ。当時桜はまだ見頃だった。10時ちょうど一斉にライトが灯され眩い中式が始まった。文学部教授の式辞があり、校歌を聴く頃にはすっかり明治の一員となっていた。泉校舎で受けた入学試験は、どういう訳かどの科目もすらすらと解けた。他ではこうはいかなかった。これも明治に入れという思し召しだったと今も思っている。

■錚々たる教授陣 ■大岡信 (文学) 中村雄二郎 (哲学) 西垣脩 (俳人・1年次担任) 松岡三郎 (労働法) 鍛冶良堅 (家族法) 和田英夫 (憲法) 宮崎繁樹 (国際法) 菊田幸一 (刑事政策) 田辺照子 (労働法・ゼミ指導教授) …私が勉学に勤しんでいたわけではまったくくないが、素晴らしい先生方ばかりだった。

■神宮球場 ■春秋の土日は専ら学友たちと通い、明法はいつも優勝を争った。剛腕江川に鹿取一高橋で対抗した。六大学の後には勝っても負けても新宿で飲んだ。大半は思い出横丁か流行っていたコンパ。連中とは今でも飲み仲間だ。帰りの電車で乗り合わせた紳士に途中駅で終電までごちそうになり、さて僕らも帰ろうとした時、居合せた日大応援団OBから飲めとビールを注がれ、店を出た頃には夜が明けていた。終電後小田急線の線路上を歩いて帰った夜更けもあった。建設中の代々木上原駅で作業員が回送電車に気をつけろよとミカンをくれた。のんびりしたいいい時代だった。



3年時の学生手帳(上)
2年時の講義の時間割(下)

今年も「陽気なキッチン」からお礼の言葉



2023年7月22日 西東京紫紺会を代表して久保田支部長から、こども食堂「陽気なキッチン」の平野会長に寄付金を贈呈いたしました。平野会長からは、夏の花火に役立てたいとお礼の言葉を頂きました。

子供たちにとって夏休みの花火は楽しみのひとつです。花火はおもちゃ屋の店先の最前列に並んでいるものの、公園はおろか、自宅が集合住宅の場合も、ちょっとした路地でも花火遊びが禁じられているのが現実です。こども食堂の前庭での花火は、親も子供も夏休みの思い出に残る唯一の花火遊びになるでしょう。

又、昨今のひとり親世帯や非正規就労の方々の増加で、こども食堂も利用者が漸増している・・・この喜ばない現実には平野会長も表情を曇らせています。日々の生活に困ってい

る時は「お互い様」です。こども食堂は毎月12日に開かれています。分かち合えるもので、痛みにくい食品類や、お米、乾物、缶詰など、校友の皆さまの個人的なご支援も宜しくお願ひ申し上げます。問合せ等は、久保田支部長までお願ひいたします。

★7月31日に子ども食堂「陽気なキッチン」で小さな花火大会開催★



振舞われた
カレーライス



猛暑の中での暑気払い

わが明治大学校友会西東京市地域支部では、役員が集まり活動内容や方針について話し合う役員会を毎月第1日曜日に開催しています。

しかし、8月になると、暑い、暑い。そこで！役員会の終了後、暑気払いを行おう！・・・ということで、(実は前から決めていました。笑) 8月6日(日)の昼12時半から田無駅近くの武蔵野食堂で行いました。皆さん、食欲旺盛です！これでは暑さも、たまらん！・・・と、退散するでしょう。気温35度の猛暑日の中、暑さを吹き飛ばすほどの会を終え素晴らしいひと時が過ごせました。(小林 太)



◆毎年好評のバーベキュー懇親会開催◆

2016年に初めて開催したバーベキュー懇親会は、毎年多くの参加者を得てご好評いただいておりますが、今年も次の日程で開催いたします。ご家族の参加も大歓迎、青空の下で楽しいひと時を過ごしましょう。お気軽にご参加ください。



- * 日程 : 10月15日(日)
- * 開始時間 : 午後2時より
- * 場所 : いこいの森公園 パークセンター(管理事務所)前に集合
東京都西東京市緑町3-2-5 (最寄りのバス停は谷戸小学校)
- * 参加費 : 5,000円 (当日現金にてお支払いください)
ビール・ソフトドリンク飲み放題
その他のお酒はお持ちよりください
- * 申込み : 10月10日(火)迄
伊藤和明イベント推進委員長へご連絡ください
TEL : 042-467-0847 ☎ : 090-3919-5754
PC mail : kazitoh@hotmail.co.jp



◆西東京市民まつりへ参加◆



4年ぶりに開催される「西東京市民まつり」に西東京紫紺会も参加します。

11月11日(土)・12日(日)、いこいの森公園に於いて開催される第20回西東京市民まつりにテント出店します。校友の皆さんと交流を深めたいと思いますので、ご来場いただき校友会テントにお立ち寄りください。

社会貢献につながる切手・ベルマーク

社会貢献の一環として、使用済み切手及びベルマークを集めています。会員の皆様には、使用済み切手・ベルマークを切り取り、保管しておいてください。

年に一度開催される総会の時にお持ちいただき、集まった切手等は社会福祉協議会に届けています。皆様のご協力をお願いいたします。



ニュース

●全国校友大会が4年ぶりに開催予定

第59回明治大学全国校友愛知大会

日程：2023年11月18日(土)～19日(日)



編集後記



今年の夏は例年に比べて暑い日が多く、涼しくなるのを心待ちしている日が続きました。これからはようやく過ごしやすく、戸外で活動しやすい時季になります。

明治大学のニュースをネットで捜していたら、全国の人事・総務職が選ぶネームバリューが一番強いと思う「GMARCHの大学」ランキングというのがありました。明治大学は2位でした。「GMARCHの中で一番優秀な学生が多いと思う大学」ランキングでは1位でした。GMARCHとは、学習院大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学の事でした。
(木村 美栄子)



発行 : 明治大学校友会 西東京市地域支部

事務局 : 西東京市柳沢 2-14-15-320(久保田様方) Tel.042-466-1775

編集 広報委員会 : 中村俊信・木村美栄子・小林 太・宮川孝之・宮川尚子

<http://www.meiji-ntk.com/index.html>



校友会西東京支部
HPのQRコード